

## 健康寿命をのばして、いつまでもいきいきと

1月26日(土)に総合文化センターパルナスで、住み慣れた地域でいつまでも自分らしい暮らしを続けられるように、住民同士でささえあうまちづくりを目指して、「ささえあう町づくり講演会」が開催されました。講演会には、地域で生き生きと活躍をする北光寿大学のコーラスクラブや健康ダンスでおなじみの「ベエ子ちゃん」が日頃の活動の成果を披露しました。また、健康寿命をのばす取り組みとして100歳体操に取り組んでいる地域の中から、下前地区と小泊地区から取り組み発表がありました。そして、今回の講演会には、青森山田高等学校(青森市)の男子新体操部の監督で、男子新体操プロユニット「BLUE TOKYO」のプロデュースをしている荒川栄さんと、荒川さんが代表を務めるワイズパーク青森センターから若松佑弥さんを講師に招き、運動の大切さや椅子に座ってできる体操を学びました。「BLUE TOKYO」のメンバーも駆けつけ、世界が注目するアクロバットな演舞で会場を大いに湧かせました。参加した人は「運動の大切さを楽しく学べた。来年も参加したい」と講演会の内容に満足していたようです。



講演をする荒川さん



BLUE TOKYOの演舞



運動の説明をする若松さん



みんなでワイズ体操

## 大地の恵と海の幸でおもてなし

イガ米  
～きてけフェア

1月26日(土)と27日(日)の2日間、青森県観光物産館アスパム(青森市)で「なかどまりイガ米～きてけフェア」が「2019アスパム冬まつり」の第1週と同時開催され、中泊町産の野菜や海産物などを販売するブースを屋内外に設けたほか、様々なイベントで町のPRを行いました。

釣り大会やイカ墨書道大会、無料振る舞いなどのイベントは長蛇の列ができ、中でも27日の金多豆蔵人形芝居には100人以上が詰めかけ、開演30分以上前から座席が埋まって立ち見客続出の盛況ぶりでした。

体験型イベントによる効果的なPRが功を奏し、大盛況の内にイベントは幕を閉じました。



わなげの景品は中泊産の農産物



販売ブースは大盛況



満員御礼の金多豆蔵

